

交通安全かわら版

令和 8 年 1 0 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 35

～ 令和 8 年 9 月 末 の 交 通 死 亡 事 故 ～

令和 8 年 9 月 末 の 交 通 死 亡 事 故 の 特 徴 【発生件数 81 件、死者 81 人】

- 本県の死者 81人 前年比 +27人 全国ワースト第6位
 - ◇ 人口10万人当たり 2.90人 (全国ワースト第2位)
 - ◇ 車両1万台当たり 0.28人 (全国ワースト第2位)
 - ◇ 道路千キロメートル当たり 1.46人 (全国ワースト第18位)
- 全国の死者数 1,752人、前年比 -26人 (増減率 -1.5%)

- ◆ 「高齢者」の死者数 45人 (構成率 55.6%)、前年比 +14人 (全国ワースト第3位)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は 8件、前年比 +3件
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は 32件、前年比 +12件
- ◆ シートベルト非着用の死者数は 14人、前年比 +1人
- ◆ 県南地域で 29人 (構成率 35.8%)



【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市 町 村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 6人～水戸市(-2) 5人～ひたちなか市(+2), 土浦市(+5), 古河市(+1)
(2) 第1当事者の年齢層 (件)	◇ 70歳以上 26件(+11), 50歳代 15件(+10) ◇ 高齢者 32件(+12), 青少年 4件(-2)
(3) 第1当事者の違反 (件)	◇ 歩行者妨害(+7), 運転操作不適(+4), 前方不注意(+3) 各11件 最高速度 9件(+5)
飲 酒 運 転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 8件(+3)
(4) 状 態	◇ 四輪車 32人(+3) うち同乗 2人(-6), 歩行者 26人(+13) うち横断中 18人(+10) 自転車 14人(+10), 二輪車 9人(+1)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 32人 うちシートベルト非着用 14人(43.8%), 着用 17人(53.1%), 着用不明 1人(3.1%) 非着用14人中11人(78.6%)は着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別 18～20時 13人(+8), 16～18時 11人(+5) ◇ 昼間 44人(+11) 構成率 54.3%, 夜間 37人(+16) 構成率 45.7%
(7) 事 故 類 型	◇ 人対車両 26人(+14) うち横断中 18人(+10) ◇ 車両相互 34人(+9) うち正面衝突(+5), 出会い頭(-7) 各10人 ◇ 車両単独 20人(+3) うち工作物 13人(±0) ◇ 列車 1人(+1)
(8) 死者の年齢層	◇ 80歳以上 22人(+5), 70歳代 19人(+7) ◇ 高齢者 45人(+14) 構成率 55.6%
特 記 事 項	◇ 令和8年9月中の死亡事故(発生件数7件, 死者数7人)の特徴 ・死者の状態別では、四輪車が3人、歩行者が3人、自転車が1人 ・死者の昼夜別では、昼間に5人 ・第1当事者の年齢層では、40歳代・50歳代が各3人

- ※注1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。
2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。
3 ()内は前年比
4 数値はいずれも速報値であり、月区分は計上月による。

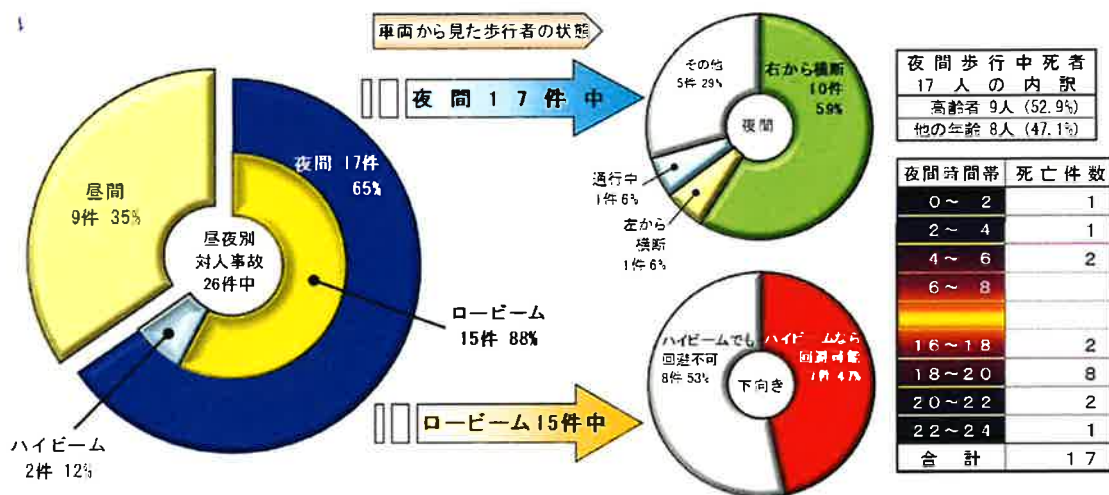
交通安全かわら版

令和8年10月
茨城県警察本部交通総務課
No. 36

～ライト切り替えによる交通事故防止～

10月は**午後4時30分**を目安に
ヘッドライトを点灯しましょう！

夜間、車両(原付以上)が歩行者と衝突する交通死亡事故(令和8年9月末・17件17人)



運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！



ロービームでは約40m先に立っている人の足下しか照らせません。
時速60キロで走行していた場合、人だと認識できたときにはブレーキを踏んでも間に合わない可能性が高くなります。
ハイビームを活用し、上向きにできないときは速度を控えましょう。

歩行者・自転車利用者は**反射材**の着用を！

自分の存在をアピールすることで暗い時間帯の交通事故被害を防止しましょう！



『光って 照らして
☆ Let's do it ☆』
活動推進中！！

詳細はこちら→



県警新マスコット あんこう部長